

平成26年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立放課後児童クラブ	所管課	子育て支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人ふじみ野市学童保育の会	施設分類	子育て支援施設
指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成27年3月31日	利用料金制導入	なし(指定管理料のみ)
導入年月日	平成23年4月1日	指定回数	1回
施設設置目的	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものにつき、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図る		
施設概要	大井放課後児童クラブ(定員70名、延床面積282.78㎡)、鶴ヶ丘放課後児童クラブ(定員60名、延床面積138.44㎡)、第2鶴ヶ丘放課後児童クラブ(定員60名、延床面積164.37㎡)、東原放課後児童クラブ(定員87名、延床面積190.03㎡)、西原放課後児童クラブ(定員40名、延床面積96.05㎡)、亀久保放課後児童クラブ(定員70名、延床面積142.63㎡)、三角放課後児童クラブ(定員42名、延床面積93.57㎡)、東台放課後児童クラブ(定員66名、延床面積165.62㎡)		
管理運営の基本方針	児童クラブ施設の管理について、児童福祉法及びふじみ野市立放課後児童クラブ条例の趣旨に則り、児童クラブ設置の目的を効果的に達成することを目的とし、住民サービスの向上と業務の効率化を目指す。		
指定管理者の主な業務	放課後児童クラブの保育実施に関すること。 児童クラブの施設、設備等の維持管理に関すること。		

【評価項目】

【評価基準】 5: 目標以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合 / 4: 目標以上の結果(5以外) / 3: 目標値に達している場合 / 2: 目標値をやや下回る場合 / 目標値を大きく下回る場合

1 指定管理者の健全性

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか また、団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか	評価
特記事項 (問題等があった場合)	3

2 施設の有効活用

施設利用状況	利用区分等	予定(計画・目標) 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
	平均登録児童数	493 人	440 人	109.4%	89.2%	
(特記事項)						
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由		
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>施設の運営に関する業務</li> <li>児童の安全に関すること</li> <li>施設等の利用に係る相談等に関する業務</li> <li>指定管理者に付帯する業務</li> <li>その他の業務</li> </ul>		基本協定、仕様書どおり適切に実施されていた。		
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休み(夏休み・冬休み・春休み)の一時保育</li> <li>延長保育</li> <li>昼のお弁当注文サービス</li> </ul>		左記について、自主事業の協議書のとおり実施された。			
サービス向上の取組	平成26年度は、保育技術、労務関係、障がい児対応、虐待防止、個人情報保護、応急処置など多くのテーマについて、内部9回・外部19回の研修を実施し、延べ318名が参加した。さまざまなテーマについて各職員に受講させ、サービスの総合的な向上を図っている。					

3 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート	
	(2) 調査、会議等の内容 【実施時期】平成27年1月7日～1月17日 【調査方法】利用保護者に対し、アンケートを実施。 【調査項目】①保護者への対応②子育てに関する相談対応③情報提供④指導員と児童の関係⑤児童同士の関係⑥保護者同士の関係⑦保育内容⑧行事⑨遊具・施設⑩おやつ提供⑪利用時間⑫保護者懇談会実施方法⑬総合印象	
利用者からの評価・要望・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 回答を「満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満足」「不満足」の選択制で調査を行った結果、「満足」～「ふつう」は各項目で86%以上であった。 ⑬総合印象は、「満足」「やや満足」と79.3%が回答し、全体として高評価となった。(満足50.3%、やや満足29%、ふつう18.7%、やや不満足0.5%、不満足0%、未回答1.6%)	4
	(1) 良好とする評価 ・子どもが児童クラブに通い、友達と遊ぶことを楽しみにしており、先生のことも信頼しているので、安心している。 ・おたよりや連絡帳で写真や親しみやすい文章でこまめに伝えてくれるのでありがたい。 ・指導員の先生方に大変満足している。常勤もパートも同じように考え方を統一して下さるので、わかりやすく安心。 ・おやつは駄菓子やスナック菓子でなく、手作りのものも取り入れていただき、感動。もうすこしおやつ代を払ってもいいという気分になる。 ・保護者会は回数が多いように感じるが、仕事をしながら子育てする身として、不安を理解し合える関係を築ける。  (2) 苦情・改善等の要望事項 ・施設の老朽化が目立つ、また、子どもの人数に対して施設が狭く、安全面においてやや心配がある。 ・利用時間を7:00～20:00にしてほしい。延長料金が高い。 ・保護者会について、毎月は必要ない。開始時間も遅い。20:30過ぎると遅く子どもが心配なので時間を短くしてほしい。 ・キャンプや上級生合宿、お泊まり会、映画鑑賞ができなくなり不満。市外・時間外・特定児童だけの行事はダメなど市からの規制が強くほとんど外に行く行事がない。たまには外に出る行事があってもよいのではないかと。子どもたちがかわいそう。事故を恐れて何もしないのではなく、事故を起こさないよう万全な対策をとった上で、行事を行うことを検討してほしい。など  《対応措置》 ・定員超過した施設及び老朽化した施設については、優先順位を決め、順次建替え予定。 ・延長料金は利用者が少なく指導員の残業扱いの対応となり、人材確保も困難であることから、実施を見送らざるを得ない状況となっている。 ・保護者会は、平成25年度は各クラブにより回数が異なっており、負担が大きくなるクラブがあったため、ふた月に1度という頻度で統一した。また、実施時間についても20時までとした。 ・行事は、施設の設置目的をふまえ、保護者への負担がないように保育時間内で行うよう計画するよう指導しており、特に児童クラブの敷地外で行う行事については、計画段階において児童の安全管理(安全な経路の選定、熱中症対策など)を計画書に盛り込むことをお願いしている。結果として、計画書に安全管理の対策が盛り込まれておらず、承諾をしないことがあった。	

4 事業収支

	指定管理者収支(平成26年度)				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		平成26年度決算		平成25年度決算(前年度)				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
事業収支 (単位:円)	収入	利用料金		利用料金		歳入	保育料	37,340,262	保育料	32,952,000	3
		指定管理料	115,900,000	指定管理料	115,900,000		行政財産使用料	3,600	行政財産使用料	3,600	
		自主事業※	1,636,000	自主事業※	1,578,412		国庫支出金		国庫支出金		
		その他収入		その他収入	1,545,959		県支出金	29,418,417	県支出金	28,389,000	
							その他	1,590,000	その他	2,167,000	
		計	117,536,000	計	119,024,371	計	68,352,279	計	63,511,600		
	支出	人件費	105,222,000	人件費	100,954,227	歳出	修繕料	135,864	修繕料	279,300	
		設備管理費	2,100,000	設備管理費	2,100,000		保険料	57,541	保険料	44,122	
		備品購入費	300,000	備品購入費	399,232		指定管理料	115,900,000	指定管理料	108,000,000	
		修繕費	800,000	修繕費	836,976		業務委託料		業務委託料	0	
光熱水費		2,580,000	光熱水費	2,499,548	土地・建物賃借料			土地・建物賃借料	0		
事業費		3,872,000	事業費	3,786,707	その他		92,033	その他	65,411		
事務経費		2,426,000	事務経費	2,777,854							
本社経費			本社経費								
その他		56,853	その他	195	計		116,185,438	計	108,388,833		
計	117,356,853	計	113,354,739								
損益		179,147		5,669,632	差引	△ 47,833,159		△ 44,877,233			
自主事業※	収入	2,536,000	収入	2,681,262							
	支出	900,000	支出	1,102,850							
	自主事業損益	1,636,000	自主事業損益	1,578,412							
人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】									89.1%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	3
	配置実績 統括責任者を1人以上、労務管理及び経理事務等の担当者を1人以上 各児童クラブに2人以上の常勤放課後児童クラブ指導員を配置(1人を責任者となる所長、1人を所長代理となる副所長、有資格者1人以上)児童数に応じた指導員配置 要支援児に対応する為の指導員加配		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	適	3
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	適	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	適	3
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	適	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか		

6 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	3
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	3
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 施設の設置目的の達成に関する取組

区分	具体的な取組の状況・実績	評価
児童の生活習慣の確立	・使った道具はその児童が片付けることを基本とし、ルールが守られない場合は、班ごとの話し合いなどでどのようにすればルールが守られるかを考える機会をあたえるなど、自主性を養うための取組を行っている。 ・班ごとのおやつ配膳は班員で協力して行う。また、一日保育日にはお弁当箱洗いをし、低学年児童には上級生が洗い方を教えるなど異学年交流をしながら、児童が基本的な生活習慣を習得できるよう配慮している。	4
地域との連携	・今年度は「第2回学童フェスティバル」を開催し、地域の方の中からフリーマーケットの参加者を募集し、協働するなど地域住民との連携に努めている。また、「おおい祭り」では、児童がよさこい祭りに参加した。よさこい踊りの練習により、児童同士の絆を深め、かつ、地域イベントにも貢献している。 ・昼食の注文サービスでは、障がい者支援施設である「おおい作業所」・「協働舎レタス」からのパンの注文を励行し、地域との連携を深めた。 ・人材確保についても地域優先としており、地域雇用創出に貢献している。	
家庭との連携	・保護者との関係では、おたよりや連絡帳でのやりとりを実施し、放課後児童クラブでの児童の様子をわかりやすく伝え、家庭との連携を図っている。また、保護者会の回数や実施時間を改善し、保護者の負担を軽減しながら、効率的に連携を図るよう努めている。 ・児童の放課後児童クラブ生活についての悩みのある保護者については、随時個人面談を受け付けており、家庭での養育についても市と連携し、保護者に提案している。	

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目		評価	総合評価			子育て支援施設
総合評価	指定管理者の健全性	3	B			
	施設の有効活用	3				
	利用者評価	4				
	事業収支	3				
	管理運営全般	3				
	危機管理体制	3				
	施設の設置目的の達成	4				
	評価理由	<p>・本市における放課後児童健全育成事業を主要事業とする団体で、他地域での実績等はないが、職員の配置体制では最低人員より多くの人員を配置するなど、安全な保育の実施に努めている。</p> <p>・利用者の評価は、総合印象評価で満足度79.3%の評価を得ており、高い評価となっている。</p> <p>・事業収支については、税理士による審査を経るなど改善されており、適正と認められる。</p> <p>・管理運営全般においては、封入ミスや提出書類に誤入力があるなど課題点が見受けられるが、その他は概ね適正である。</p> <p>・危機管理体制について、職員に防災防犯研修を受講させ、各児童クラブで避難訓練を実施するなど努めているが、台風後の施設点検などの迅速性に多少難点がある。</p> <p>・設置目的については、よく理解し、保育内容・地域連携・家庭連携が行われており、評価できる。</p>				
取組・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育時間の延長</li> <li>・東西両地域のサービス内容に異なる点があること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育時間の延長につき、必要な経費の試算等を行い検討してきたが、全国的に保育需要が高まる中、人材の確保が危ぶまれ、実施を見送っている。</li> <li>・平成26年度は、両地区の指定管理者と市による運営調整会議を定期的を実施し、サービスの統一を情報の共有を目的として連携を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者による保育人員の確保に協力し、開室時間延長の実現に向け準備を進めていく。</li> <li>・同事業の指定管理者が2団体いることは、お互いの良い点を取り入れ、また、改善点を共有することができるという側面があるため、引き続き、運営調整会議を通じて、サービスの向上のため、連携を深めていく。</li> </ul>			

【指定管理者自己評価】

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

- ・全職員が放課後児童クラブの役割や子ども理解を深め、保護者が安心して子育てと仕事の両立ができるよう、職員研修の充実・強化に取り組んでいます。今年度は「アナフィラキシーショックへの対応とエビベン使用訓練」に全職員が取り組みました。市内東地区の放課後児童クラブでの1日現場研修に所長全員が参加しました。放課後児童クラブのサービスの向上に向け、東地区との連携は今後も継続します。
- ・子どもたちが安心、安全に過ごせることと同時に、子どもたちが主体的に活動できる時間と空間を確保しています。また、異年齢の集団生活という特徴を生かした保育活動を通じ、他者を理解し、自己肯定感を得られるよう、子ども同士の関わりを援助しています。
- ・保護者には連絡帳、クラブ便り、保護者会を通じて、放課後児童クラブでの子どもの様子を伝える取り組みを大事に継続しています。保護者会以外にも個人面談等を実施し、保護者からの相談には何時でも対応できるようにしています。

② 業務の効率化に対する取組

- ・施設が安全に利用できるよう、各クラブで毎月点検を行っているほか、指導員代表が定期的に見回り、危険箇所があれば速やかに修繕を行いました。また、年度末に、年度末に、業者による空調機の洗浄を行ったことで、今夏の省エネ対策も期待できます。
- ・税理士と業務契約を結び、経理・会計の適正化の強化を図りました。また、社会保険労務士とも業務契約を結び、労働関係に関わる法令の遵守に努め、職員の就業規則、給与規程の見直しを行いました。
- ・公共の業務に携わる職員のモチベーションや責任意識、高い満足度で生き生きと働ける職場環境は、市民サービスの向上を左右する大事な要素であると考えます。法令遵守はもとより、安定した労働条件の確保と高いモチベーションを維持できる職場環境を実現するために、昨年度から業務委託をしている社会保険労務士に指導をいただきながら、必要な施策を講じています。

③ その他

- ・前年度課題であった地域の人材活用については、文京学院大学地域連携センターBICS、地域サークルの読み聞かせ、語りの会「ずくぼんじょ」、マジック「大井奇術団」の夏休み保育活動への協力を頂きました。また、オカリナサークル「花音会」にはミニ演奏とオカリナ体験会を実施して頂きました。今後も地域の方々に協力、活躍して頂ける場を広げていきたいと考えています。
- ・地域との交流を兼ね、「おい作業所」のベーグル、「協働舎レタス」のパンをおやつに採用させて頂きました。原材料表示、食品添加物、製造規格書が添付され、子どもたちが楽しみにしているおやつ改善の一つになりました。また、地域の高齢者雇用に積極的に努めています。
- ・今年度も地域の各種団体活動(ふじみ野市コミュニティづくり推進連絡会・市民活動支援センター)に参加しました。特に、ふじみ野市コミュニティづくり推進連絡会主催の「チビッコ広場」では、今年度初めて、学生アルバイト職員をボランティアとして派遣し、地域の子も達とも交流を深めることができました。

(2) 管理業務実施上の課題

- ・前年度に、小学校の遊具使用時の事故が多発したことを教訓に、小学校との連携、子ども達とのルール作成、8クラブ全体でのヒヤリ・ハットの共有を徹底し、事故発生件数をこれまでの半数以下に抑えることができました。引き続き、全職員がヒヤリ・ハットに学び、危機の兆しを察知し、手立てを講じられる技量を培っていきます。
- ・自主事業として、長期休業中の一時預かり保育を実施していますが、児童数増加で、定員を超えるクラブがほとんどの為、受け入れが難しくなっています。通常保育の利用の仕方も今後検討が必要ではないかと考えます。
- ・個人情報取り扱いに関しては、入室決定書類の封入ミスを引き起こした反省を踏まえ、これまで以上に職員一人一人が個人情報取扱者であるという認識を持って日々の業務に専念していきます。

(3) 次年度以降の取組

- ・児童クラブに通う子どもたちの学校での友達や、ご近所との交流を目的に、各クラブ単位でのミニ祭りを計画します。
- ・自主事業の取り組みとして、クラブ全体を対象に親子で楽しめる行事の企画実施を検討したいと考えています。
- ・出資金の返還、おやつ代等の未納金の催促等の相談をするため、弁護士との業務契約を検討しています。
- ・放課後児童クラブも、市に新設された「ふじみ野市児童発育・発達支援センター」による、訪問施設の対象にして頂けるよう市に相談し、障がいのある子どもたちの放課後生活を支援していきたいと考えています。
- ・最低年2回を目標に実施していた「避難訓練」を「緊急対応訓練」に改め、火災や地震以外に不審者対応やAEDの取り扱い等も含め、月1回の訓練実施を目標に取り組みます。